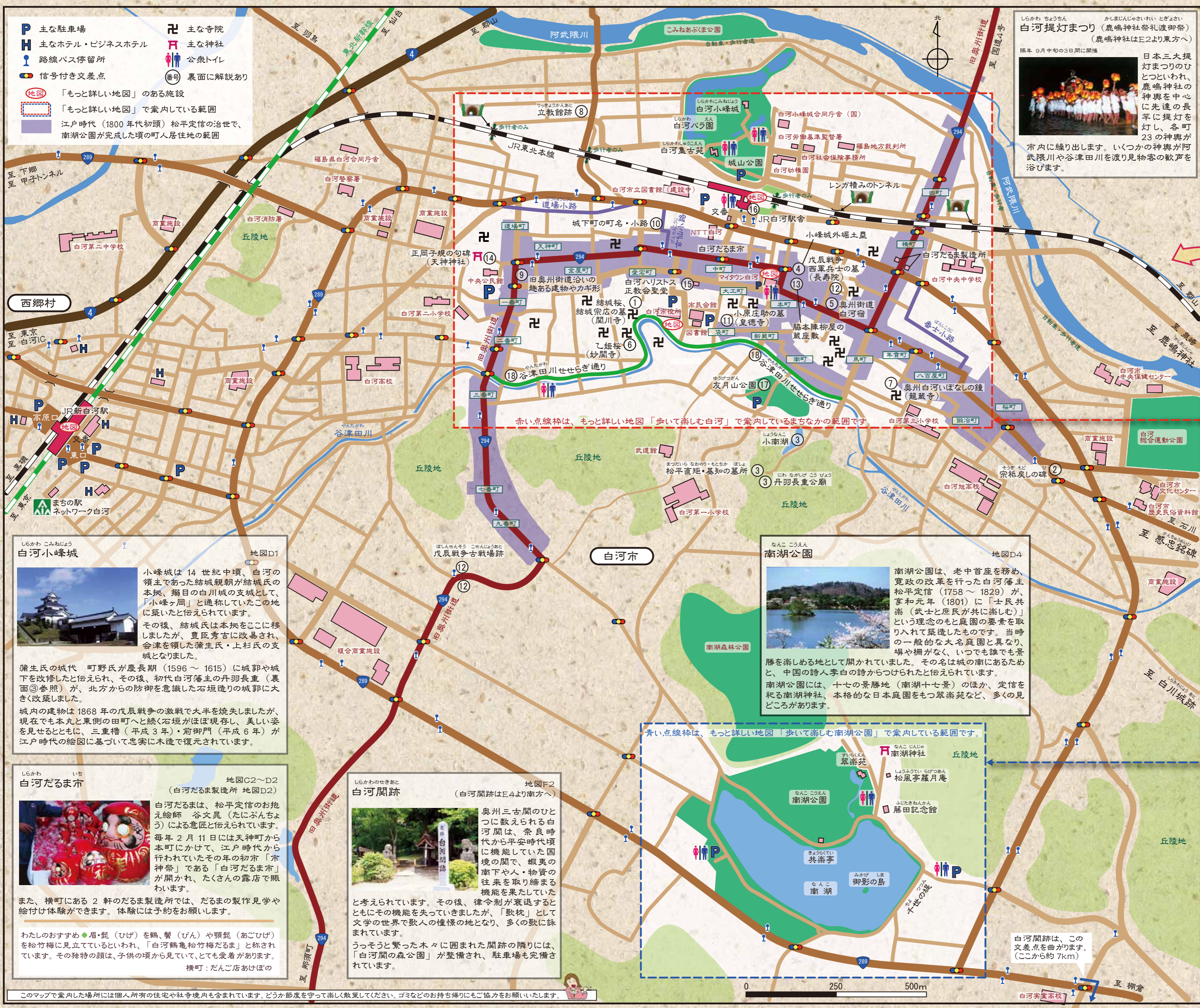


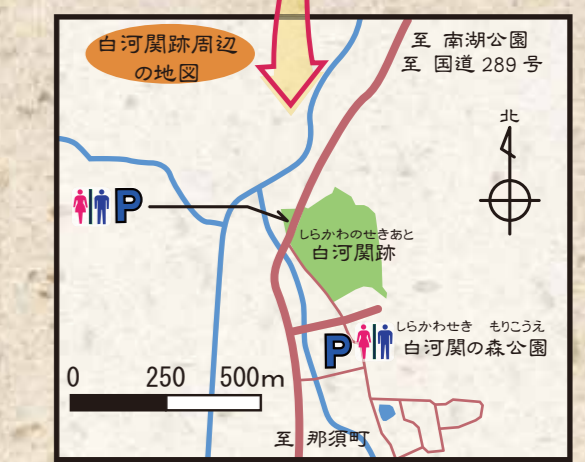
- P** 主な駐車場
 - H** 主なホテル・ビジネスホテル
 - 路線バス停留所
 - 信号付き交差点
 - Ⓜ** 主な寺院
 - Ⓜ** 主な神社
 - 公衆トイレ
 - 裏面に解説あり
- 「もっと詳しい地図」のある施設
「もっと詳しい地図」で案内している範囲
江戸時代(1800年代初頭)松平定信の治世で、南湖公園が完成した頃の町人居住地の範囲



わたしの白河 ガイドマップ

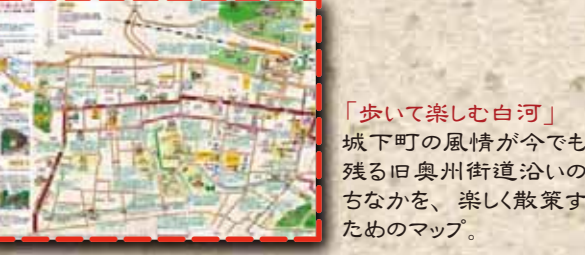
今に残る 城下と宿場の風情

「わたしの白河 ガイドマップ」のお問い合わせ先
 発行者 福島県南建設事務所(事務局)
 TEL: 0248-23-1617 FAX: 0248-23-1642
 E-mail: kennon.ken@pref.fukushima.jp
 発行年月 平成21年3月(第1版)
 このガイドマップは、平成20年度まちづくり懇談会で作成しました。



もっと詳しい地図

地図中の「地図」印には、もっと詳しい案内地図やパンフレットが置かれています。もちろん無料です。



「歩いて楽しむ白河」
 城下町の風情が今でも残る旧奥州街道沿いのまちなかを、楽しく散策するためのマップ。

「歩いて楽しむ南湖公園」
 200年の歴史を誇る南湖公園の文化や自然を、隅から隅まで楽しむための散策マップ。

「福島県白河」
 名所、食べ物、祭り、宿など役立つ情報が満載、白河を楽しむ総合ガイド。

「白河うまいもんMAP」
 そば、ラーメン、うどんや菓子など、白河の「食」を味わい尽くすマップ。

「白河市 観光・寺院ガイドマップ」
 すべての宗派があるといわれているほど寺院の多い白河、その奥深さを楽しむにはこの一冊。

上の地図等についてのお問い合わせ先
 白河市産業部観光課 TEL: 0248-22-1111
 白河観光協会 TEL: 0248-22-1147

しらかわ ちょうちん
白河提灯まつり (鹿嶋神社祭礼渡御祭)
 (鹿嶋神社はE2より東方へ)

高年 9月中旬の3日間に開催

日本三大提灯まつりのひとつといわれ、鹿嶋神社の神輿を中心に先達の長竿に提灯を灯し、各町23の神輿が市内に繰り出します。いくつかの神輿が阿武隈川や谷津田川を渡り見物客の歓声を浴びます。

しらかわ こみねじょう
白河小峰城 地図D1

小峰城は14世紀中頃、白河の領主であった結城親朝が結城氏の本拠、獨目の白川城の支城として、「小峰ヶ岡」と通称していたこの地に築いたと伝えられています。その後、結城氏は本拠をここに移しましたが、豊臣秀吉に改易され、会津を領した蒲生氏・上杉氏の支城となりました。

蒲生氏の城代 町野氏が慶長期(1596~1615)に城郭や城下を改修したと伝えられ、その後、初代白河藩主の丹羽長重(裏面③参照)が、北方からの防御を意識した石垣造りの城郭に大きく改築しました。

城内の建物は1868年の戊辰戦争の激戦で大半を焼失しましたが、現在でも本丸と東側の田町へと続く石垣がほぼ現存し、美しい姿を見せるとともに、三重櫓(平成3年)・前御門(平成6年)が江戸時代の絵図に基づいて忠実に木造で復元されています。

しらかわ いち
白河だるま市 地図C2~D2 (白河だるま製造所 地図D2)

白河だるまは、松平定信のお抱え絵師 谷文晁(たにぶんちやう)による意匠と伝えられています。毎年2月11日には天神町から本町にかけて、江戸時代から行われていたその年の初市「市神祭」である「白河だるま市」が開かれ、たくさんの露店で賑わいます。

また、横町にある2軒のだるま製造所では、だるまの製作見学や絵付け体験ができます。体験には予約をお願いします。

わたしのおすすめ ●眉・髭(ひげ)を鶴、鬚(ひげ)や顎髭(あごひげ)を松竹梅に見立てるといわれ、「白河鶴亀松竹梅だるま」と称されています。その独特の顔は、子供の頃から見ていて、とても愛着があります。横町: だんご店あけぼの

しらかわのせきぎわ
白河関跡 地図F2 (白河関跡はE4より南方へ) 地図D2

奥州三古関のひとつに数えられる白河関は、奈良時代から平安時代頃に機能していた国境の関で、蝦夷の往来を取り締まる機能を果たしていたと考えられています。その後、律令制が衰退するとともにその機能を失っていきましたが、「歌枕」として文学の世界で歌人の憧れの地となり、多くの歌に詠まれています。うっそうと繁った木々に囲まれた関跡の隣には、「白河関の森公園」が整備され、駐車場も完備されています。

しらかわのせきぎわ
白河関跡 地図F2 (白河関跡はE4より南方へ) 地図D2

奥州三古関のひとつに数えられる白河関は、奈良時代から平安時代頃に機能していた国境の関で、蝦夷の往来を取り締まる機能を果たしていたと考えられています。その後、律令制が衰退するとともにその機能を失っていきましたが、「歌枕」として文学の世界で歌人の憧れの地となり、多くの歌に詠まれています。うっそうと繁った木々に囲まれた関跡の隣には、「白河関の森公園」が整備され、駐車場も完備されています。

なんこ こうえん
南湖公園 地図D4

南湖公園は、老中首座を務め、寛政の改革を行った白河藩主松平定信(1758~1829)が、享和元年(1801)に「士民共楽(武士と庶民が共に楽しむ)」という理念のもと庭園の要素を取り入れて築造したものです。当時の一般的な大名庭園と異なり、塀や柵がなく、いつでも誰でも景勝を楽しめる地として開かれていました。その名は城の南にあるためと、中国の詩人李白の詩からつけられたと伝えられています。南湖公園には、十七の景勝地(南湖十七景)のほか、定信を祀る南湖神社、本格的な日本庭園をもつ翠楽苑など、多くの見どころがあります。

なんこ こうえん
南湖公園 地図D4

南湖公園は、老中首座を務め、寛政の改革を行った白河藩主松平定信(1758~1829)が、享和元年(1801)に「士民共楽(武士と庶民が共に楽しむ)」という理念のもと庭園の要素を取り入れて築造したものです。当時の一般的な大名庭園と異なり、塀や柵がなく、いつでも誰でも景勝を楽しめる地として開かれていました。その名は城の南にあるためと、中国の詩人李白の詩からつけられたと伝えられています。南湖公園には、十七の景勝地(南湖十七景)のほか、定信を祀る南湖神社、本格的な日本庭園をもつ翠楽苑など、多くの見どころがあります。